

朝礼 校長講話（12月17日）

暖冬といわれた今年も、12月に入り、ここに来てようやく冬らしい日が多くなってきました。今も、ウィンドブレーカーを着ている子とそうでない子、マスクをしていることそうでない子、さまざまですが、自分の体調に合わせて服装やマスクなどで調節をし、風邪の予防に努めてください。

話は変わりますが、毎年12月になると楽しみにしていた人も多いと思いますが、お笑いのイベント「M-1グランプリ」が先日行われました。とても注目の高い大会で、そこでチャンピオンになると、翌日からテレビにひっぱりだことなり、それ以降よく目にします。しかし、今年は、優勝したコンビのことはあまり話題にならずに、それ以上に、その時の審査に対することがテレビやインターネットですっと話題になっています。知っている子も多いと思いますが、今日はその話題と皆さんの日常を重ね合わせて話したいと思います。

この発端は、決勝に駒を進めたグループのうちの二人が、一人の女性審査員に対して暴言を吐いたというものです。確かに、審査は厳しい言葉が並びました。当然、その審査に対し思うところはあったらと思うのですが、それをツイッターでつぶやいてしまい、それが拡散、炎上したというものです。

憲法19条を知っていますか。ここには「思想の自由」がうたわれています。つまり、「思うことは自由」という意味です。ですから、審査の時の言葉が気に入らない、結果が納得できないと思うことは自由なんです。しかし、この二人は、それをツイッターでつぶやいてしまい、それが広まってしまったのです。心の中で思っていることは自由でも、それをひとたび口に出してしまったら、それは心の中で思っているのとは違うものとなり、自由ではなくなります。相手を傷つけてしまったり、嫌な思いをさせてしまったりするからです。聞くところによれば、かなり多くのテレビ出演が取り消されたとのことで、大きなペナルティを課されているようです。

これを皆さんに置き換えてみましょう。先日、個別懇談があり、そこで担任の先生から2学期のがんばりをたくさん話していただきました。また、反対に、十分にできなかったことも伝えてもらったと思います。そんな時、皆さんの心の中に、「なんだ、あの先生。いつも俺ばかりに注意して」と先生のことをよく思わない気持ちが芽生えたかもしれません。人は誰にでも好きな先生がいればそうでない先生もいます。友達でも、仲のいい子がいれば苦手な子もいます。そう思うことは自由です、心の中ですから。しかし、その気持ちをツイッターに書き込んだり他の人に話したりすることは、話は別です。発したその言葉だけが独り歩きを始め、多くの人に迷惑をかけることとなります。

あと1週間で冬休みに入り、スマホをさわる時間も増えると思いますが、その時に少し意識をしてほしいと思います。